

平成30年 1月24日

平成30年

第1回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

平成 30 年 1 月 24 日（水曜日）午後 1 時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史		教育長
鈴 木 清 子	委 員	教育長職務代理者
芳 賀 淳	委 員	
三 留 利 夫	委 員	
弘 瀬 知江子	委 員	
後 藤 貴美子	委 員	

2 出席職員（10名）

教育総務部長	水 井 靖
教育総務課長	森 岡 剛
副参事（教育政策担当）	北 村 操
副参事（教育施設担当）	布 施 満
学務課長	杉 山 良 樹
指導課長（幼児教育センター所長兼務）	増 田 亮
副参事	田 井 俊 行
学校職員担当課長	鈴 木 清 貴
教育センター所長	柿 本 伸 二
大田図書館長	山 中 秀 一

3 日程

日程第 1 部課長の報告事項

~~~~~  
(午後 1 時開会)

#### ○教育長

ただいまから、平成30年第 1 回大田区教育委員会定例会を開会いたします。  
本日は傍聴希望者がおります。  
委員の皆様には傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

#### ○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

#### ○教育長

大田区教育委員会傍聴規則第 7 条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を

加え、または拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をお願いいたします。

これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立いたします。

まず、会議録署名委員に三留委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

続いて、本日の日程第1について、事務局職員の説明を求めます。

## ○事務局職員

日程第1は、「部課長の報告事項」でございます。

## ○教育長

それでは、部課長の報告をお願いいたします。

## ○指導課長

私からは3点、報告をさせていただきます。

着座にて失礼いたします。

まず、平成29年度第6回小学生駅伝大会の報告をいたします。資料をお配りしておりますのでご覧ください。

晴天のもと、第6回小学生駅伝大会を、12月26日（火）、大田スタジアム並びに特設コースにて開催をいたしました。多くの保護者や地域の皆様が応援においでくださり、観客席の声援が響く中、代表選手の皆さんは、母校への思いとたすきをつなぐことができました。これまでの練習の成果を存分に発揮することができた大会となったと感じております。

ある小学校の校長先生からお話を伺ったのですけれども、大会に向けて、自主的に毎日自宅近くの公園を走ったり、土曜日や日曜日に家族とともにランニングをしたという話も聞いております。子どもたちの体力向上への気持ちを高め、家族の関わりを深めることにもつながっているのかなというふうに感じるところでございます。

記録をご覧ください。第1部、午前の部の第1位の徳持小学校と第2位の萩中小学校は、同タイムでございました。萩中小学校のアンカーは、最終コーナーまでは先頭を走っておりましたが、ゴール直前で徳持小学校のアンカーが抜き、ゴールテープを切るという、大接戦でございました。

また、第2部の1位と2位は2秒違いという、こちらも大接戦でございました。

参加した全ての選手が最後まで諦めることなく、走りぬいた、走り切った姿も、大変印象的な大会でございました。

参加者でございますが、児童約940名、教職員約340名、保護者・地域住民約5,000名の参加をいただいております。スポーツ健康都市を宣言している本区の教育における、一大イベントとなっております。

小学校長会をはじめ、大田区教育研究会小学校体育研究部並びに小学校養護教諭部会の先生方にご協力いただきながら、実行委員会の先生方のご尽力のおかげで、滞りなく、怪我なく、実施することができました。

大森第七中学校、南六郷中学校の陸上競技部の生徒の皆さんには、補助役員として、伴走にご協力いただきました。私も見させていただきましたけれども、最後尾の選手の後ろで、伴走者として走っているわけですが、後ろではなく、脇を走りながら声をかけていました。恐らく、「頑張れ、焦るな、もう少しだよ」などと声をかけていたのではないかと想像しております。また、中学校陸上競技部員の颯爽とした走り方は、小学生にとってのモデルでもあり、「ああいうふうになれるようになりたいな」と、恐らく、小学生は憧れを持って見ていたのではないかなと想像しているところがございます。

また、東調布中学校、大森第十中学校のチアリーディング部の生徒さんたちには、応援で大会を盛り上げていただきました。

さらには、小学校PTA連絡協議会のご協力により、はねぴょんも全日参加し、タイムレースや駅伝競技の最中、たすきをつなぐエリアとスタジアム出入り口を何度も行ったり来たりして、選手に手を振り、応援をしてくれたということがございます。

裏面でございます。大会当日の概要を示させていただいておりますが、各小学校では、この駅伝大会をきっかけに、全校マラソン週間の設定などの取り組みをしていただいております。この大会を大田区全体の体力向上につなげたいと考えております。駅伝大会という形をとっておりますので、どうしても順位が気になるころでございますが、学校規模も、あとは、様々な条件が違っている学校同士が一堂に会しての大会でございます。過度な競争をあおることなく、自校の昨年度の記録を超えることを目標にして取り組むよう、各学校には働きかけているところがございます。

私からの2点目、第9回中学生東京駅伝大会について報告いたします。お配りしております冊子をご覧ください。

まず、開催日程でございますが、平成30年2月4日（日）、女子の部スタートは午前10時、男子の部スタートは午後1時でございます。開催場所は、味の素スタジアムと都立武蔵の森公園特設周回コースとなります。男子の部は、42.195キロを17人の選手で、女子の部は30キロを16人の選手で走り、大田区民の思いとたすきをつなぎます。出場選手、そして、補員を合わせた19校42名は、21ページに写真が載っております。名簿も載っておりますので、ご覧いただければと思います。

この42名中35名が、2年前、または3年前の小学校駅伝大会で代表選手の経験者ということでございます。体力向上施策が、小中であつながつているということがございます。

選手の選出にあたっては、9月14日に駒沢競技場で行われた大田区立中学校連合陸上選手権大会の記録をもとにした選出に加えて、各校から参加希望者を募り、4日に分けて記録をとり、記録が上位の者を選手として選出しております。

昨年度は、女子の部6位、男子の部11位、総合で8位と健闘しております。特に女子は、10位までに贈られる敢闘賞と、過去最高記録でゴールしたチームに贈られる特別賞を受賞しております。

今年度は、既に11月11日に出発会を行い、12月3日に池上会館で結団式を行い、代表選手たちが健闘を誓っております。先週の日曜日には、現地での試走会が行われ、今年のチームも、昨年度の記録を超えることを目指して、順調に仕上がっているという報告を聞いております。

また、過去2回、大雪と東日本大震災のために大会が中止になったということがござい

ました。中止の場合、当日の朝、東京都教育委員会のホームページに掲出されることに決まっております。

過去、東京駅伝大田区チームの一員として出場した選手について、大変嬉しい情報をいただいておりますので、この場でご紹介をいたします。第1回東京駅伝大会の大田区駅伝チームアンカー、御園中入学、矢口中卒業、現在、日体大4年生の北村夢さんが、インカレ800メートルで日本歴代2位の記録をマークし、陸上競技の月刊誌に5ページの特集が組まれております。また、関西インカレ3,000メートル障害で優勝した志茂田中卒業生の宇野幹也選手ほか、多くの大田チームの代表選手経験者が、現在大活躍しているということでございます。

2年後には、東京オリンピック・パラリンピック大会が開催されます。大田区チームの先輩が出場する可能性もあると期待しており、出場がかなったときには、全力で応援をしたいと思っております。

私からの最後の報告になります。「ワクワクドキドキステキなものづくり」をテーマに、1月20日（土）、第16回ものづくり教育・学習フォーラムを開催いたしました。案内チラシをお配りしております。表面、カラーのほうの下をご覧ください。

開催にあたっては、準備会の校長先生や委員の先生方を中心に準備を進めていただきました。各学校では、作品展示、舞台発表、中学校代表生徒によるものづくり競技会に向けて、児童・生徒へのご指導をいただいているところでございます。また、小学校長会、中学校長会、大田区教育研究会の皆様にも、当日の指導、講評や運営等で、多大なるご協力をいただいております。また、PTAのご協力もいただき、受付や、案内などもしていただいております。皆様の力を合わせて、このようなフォーラムを開催させていただいていることに、心より感謝を申し上げたいと思っております。

裏面の左側になります。ものづくり体験コーナーでは、新たに大田区工業連合会、光写真印刷株式会社、スマイルリンク株式会社の三つの企業・団体様に加え、22種類の体験種目を17の企業・団体様で実施していただきました。体験を終えた子どもたちが、嬉しそうに、大事そうに、保護者に見せて持ち帰る姿が見られました。

舞台発表でも、新たに都立六郷工科高等学校にご参加いただいております。どの学校も、ものづくり体験、または職場体験などを堂々と舞台上で発表してございましたけれども、例えば、大森第三中学校のパソコン活用部の発表では、運動会で使用するLED得点板についての発表をしてございました。昨年度も、得点を示した紙がモーター式で動く得点板を製作していたということでございますが、見えにくかった、または風に飛ばされやすいといった課題があったそうです。そこで、今年度は、LEDを使った得点板の製作に挑戦したということでございます。ハンダづけで基盤を壊してしまったり、回路の設計に苦労しながら、何とか完成させ、運動会当日はトラブルなく使うことができ、使いやすく、見えやすかったと大変好評だったという発表でございました。得点板を使う人、または見る人のことを考え、思いやり、改善を加えていく。つまり、ものづくりの1番大切な部分に触れた発表だったかなという印象を持っております。

今回は9,646人の皆様に入場していただきました。ものづくりのまち大田の教育における一大イベントとなっております。参加していただいた子どもたちがものづくりに興味・関心を持ち、将来のものづくりを支えたり、または関わったり、そして応援したりする人、そ

んな人材が出てくることを期待しているところでございます。

私からの報告は、以上でございます。

### ○教育長

ただいま3点のご報告がございました。ご意見、ご質問はいかがでしょうか。

### ○三留委員

私は、小学校駅伝大会、ものづくりと両方見させていただいたのですが、どちらも大変成果のある事業だったのではないかという感じがいたします。

小学校駅伝につきましては、子どもたちの張り切った姿が印象的でありました。まさしく、子どもたちの体力向上であるとか、それから啓発だとか、そういったものについて、大変効果のある事業でないかなという感じがいたしました。

当日、午後の部の挨拶の中で、スポーツには「する」「観る」「支える」の全ての要素が重要という話をさせていただいたのですが、本当に観客も一体となって、スタッフがしっかり支えて、チームができたという感じがいたします。

それから、ものづくり・学習フォーラムにつきましては、発表、展示、体験と全部見させていただきましたけれども、展示については、地域、学校の実態に合わせた大変いい展示がされていたなと思います。体験は、先ほども課長からお話があったように、子どもたちが嬉しそうに参加をして、作品を大事にしていたという光景を、私も目のあたりにしました。発表につきましては、現代的な技術の発表、それから、伝統的な技術の発表、それから、ものづくりに関わる職場体験、その三つに大体分かれるかなと思ったのですが、どれも大変個性的で子どもたちの実体験がよく語られていたなと思います。より一層、大田のものづくりに密着した教育ができるといいなと思います。

どちらの事業もそうなのですが、大田区教育研究会という会がありまして、各研究部の先生、もちろんほかの関係者全てなのですが、その先生たちが、大変意気に感じて、一生懸命やっておられて会を支える姿が印象的でした。

以上です。

### ○鈴木委員

ものづくりのほうでお話させていただきます。発表の中で、子どもたちがそれぞれ発表していただくのですが、画面を使うなど、子どもたちの発表の仕方もだんだん変わってきているのかなと感じました。前に出てお話をする、プレゼンをするということに段々慣れてくるのだらうと思いますし、今後については、子どもたちが人前で物おじしないで発表できる形になろうかと期待をしているところでございます。あとは、細かいところですが、2階のところで、壁面に個々の研究発表がしてあり、非常に小さい紙面で目一杯書いて何人か発表されているのですが、自分の興味の持てることを自分なりに一生懸命、期間を長く使って統計をとったりして発表するということは、努力をして、継続をして物事をするということに対して、非常にいいのかなと感じました。特段目立った場所ではありませんが、壁面を使った細かいところの発表の場をしつらえたということは、非常によかったなと感じました。一人でも多くの子どもたちの参加出来る場を設けることは、大切な事

であります。

そして、企業・団体、先ほどのお話でいう17の企業・団体が応援してくれていると。それで、だんだん増えていくのかと思いますけれども、こういった連携をとることが非常に大切だろうと思います。今まで参加されていなかった企業なり団体さんが入ってくるということで、子どもの裾野がもっともっと広がるという、そういうことも非常によかったなと感じております。

### ○弘瀬委員

やはりものづくり体験のほうで参加させていただきました。鈴木先生がおっしゃったように、2階の壁を利用して発表されている内容なのですが、特別賞をとられた学生さんはとてもすばらしいものだったと思います。ただ、字が薄いところと濃いところというところあって、あの高さだとちょっと読みにくいところもあるかなというところが、もうちょっとうまく教えてさしあげればよかったのではないかと思います。

あとは、ものづくり、皆さん、本当に小さい子たちが笑顔で目をきらきらさせながら、トンカチで自分の手を打ったりしながら、でも、一生懸命やっている姿、とてもほほえましくてよかったなと感じました。

### ○後藤委員

私も駅伝のほうとものづくりのほうと参加をさせていただきました。今、お話がありましたとおり、駅伝のほうは、中学生の生徒さんが小学生の生徒さんの伴走をしたり、チアリーディングで応援をしてくださるところで、一緒に走るという姿がとても清々しくて、黙って隣を走って、ただ心の中で応援していますという感じではなくて、私の目から見たところ、本当に「頑張れ、頑張れ」という感じで一生懸命、早い子どもでも、遅い子どもでも、一緒に隣で走ってくださる中学生の子どもたちが、「大丈夫だよ、頑張れ」という感じで、本当に励ましながら走っているところがとても清々しくて、そうやって年齢が違って、大切なものというところで、目に見えないけれども大切なところという、気持ちの部分で、小学生の子どもたちが、たくさんいいことを育ませていただいているのだなと思いました。

また、応援していただく中学生のほうも、やはり陸上をやっている子どもということで、さすがに走り姿がすばらしいというか、小学生には、まだもう少し練習が必要かなというような走り方をしていたのが印象的でありました。

また、来年も楽しみに参加をさせていただきたいと思います。

ものづくりのほうですが、これは以前から、私はPTAのほうでお手伝いを何回かさせていただいておりました。そのときと今回の目というところで、ちょっと違った視点から参加をさせていただいたのですけれども、ものづくりフォーラムに参加する各学校の子どもたちというのは、今までの印象ですと、どうしても中学年、高学年といったような印象がとても以前はあったのが私の感想だったのですが、今回見させていただいたところ、1番最年少学年で、3年生の子どもたちが発表するというところで、ちょっとどうなのかな、3年生大丈夫なのかなという不安を持ちながら見学させていただいたのですけれども、たくさん学校のほうで練習をしたり、先生の指導のもとでいろいろなことを勉強させ

ていただいて、工場見学の発表をした生徒たちだったのですけれども、3年生ならではの発表が、とても緊張している子どもたちがたくさんいたのですけれども、その中できちんと伝えたい、伝えなくてはいけない、ここで伝えなくてはという気持ちがとてもあらわに表現できていて、すばらしい発表だったなと思いました。

先ほどもお話ありましたように、私が見させていたお中では、学校毎の特色がとてもよくあらわれていて、例えば、学校でつくっている果物をもとにジャムをつくるなど、地域の方たちに応援というか、手を貸していただいて、うちの学校はこういうことをしていますというような特色を、とてもよく表現できた時間だったかなと、感心して見させていただきました。

発表する子どもたちは毎年毎年変わっていくのですけれども、学校の中での影響というのが、学校の中には大変反映されているのではないかなと最近思っております。プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力は、人と関わらないとなかなか育たないところかなと思いますので、なるべく人の前で発表するとか、物を話すとか、立つ、座るといったような立ち居振る舞いもそうなのでも、ただ上手に発表できたね、あまり上手に発表できなかったねという評価ではなく、人の前に出るということがどういうことなのかということ、なるべく小さい年齢のうちから育てていただきたいなと思っております。学校内で先生方が、みんなの前で話すときはこういうふうに話そうねとか、みんな見られているのだよというところを、子どもたちに意識させるということがとても大事かなと思います。

公開授業もたくさん見させていたお中では、やはり、みんなの前で発表するということになると、発表することだけに集中したり、練習したりというような傾向があるとよくないなといつも見ているのですが、先生方の指導の中で、こういうふうに発表するとあまりよく伝わらないねとか、みんなの前に立つということは、体をきちんと直立させなくてはいけなかったりとか、ふらふらしたらおかしいということ、小学生にきちんと伝える方法で指導していただいているなど見受けられる学校もたくさんありますので、そういったところをどんどん広げていただいて、立ち居振る舞いから、皆さんの前で発表する、伝えることに対してどういうことが必要なのか、どういうふうにしたら伝わるのかということ、これを深めた教育を、これから推進していければなと思います。

駅伝のほうもものづくりのほうも、そういった点では、子どもらしくいきいきとしたところもたくさん見えて、とてもいい学習だったなと思います。ありがとうございました。

## ○教育長

ほかにご意見はありませんか。よろしいですか。

ものづくり教育、それから駅伝。大田区にとって特色のある教育の推進、そこで子どもたちのいきいきとした姿、また充実した姿が見られたという意見があったのではないかなというふうに思います。

それでは、これをもちまして、平成30年第1回教育委員会定例会を閉会させていただきます。

(午後1時25分閉会)